

和琴半島



阿寒摩周国立公園

川湯エコミュージアムセンター



開館時間

4月～10月 8:00～17:00

11月～3月 9:00～16:00

休館日

毎週水曜日(7月第3週～8月31日は無休、水曜祝日の際は翌日)

年末年始(12月29日～1月3日)

入館料 無料

088-3465

北海道川上郡弟子屈町川湯温泉2-2-6

TEL 015-483-4100

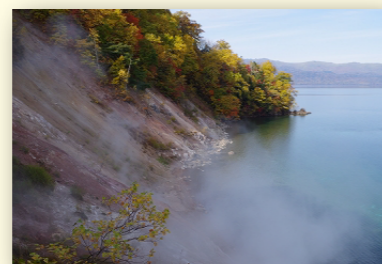
FAX 015-483-4111

URL <http://www.kawayu-eco-museum.com/>

和琴半島自然探勝路

小さな半島ですが、その中には一周約2.5kmの散策路が整備されています。1時間ほどで回ることができるため、手軽に楽しむことのできるコースとなっています。中間地点でもある半島の先端・オヤコツ地獄では噴煙が上がっている様子が見られます。また、屈斜路湖と藻琴山を望むことができるビューポイントでもあり、一休みしながら景色が楽しめます。

野鳥たちの声を聞きながら花を愛で、秋には色とりどりの紅葉を楽しみながら歩くことのできる散策路です。



オヤコツ地獄

北限に生きるミンミンゼミ

7月になると、和琴半島では「ミンミンミンミンミー」というセミの声が聞こえてきます。この鳴き声が響くのは、北海道東部では唯一、和琴半島だけという実は貴重な声の主、それは昭和26年に国の天然記念物に指定されている「和琴ミンミンゼミ」です。

北海道が今よりも温暖だった6000～8000年ほど前、ミンミンゼミは北海道全域に広く分布していました。しかしその後の寒冷化によって生息域が狭められ、わずかに地温の高い和琴半島だけに生き残ったといわれています。セミは幼虫時に土中で過ごすことから、地熱によって地面が凍結しにくいことも大きな要因だったのでしょう。

毎年7月下旬から9月上旬ごろまで聞くことができます。

和琴半島独特の自然

和琴半島は全体的に地熱が高く、冬でも凍結しない場所が多くあります。随所で温泉が湧くようすも見られ、半島先端のオヤコツ地獄では、噴煙があがり、地温が高くなっています。

また、半島全体が針葉樹と広葉樹が交じる豊かな森林に覆われています。鳥類も山野鳥から水鳥まで多くの種類が観察でき、1年を通してバードウォッチングにも人気のスポットです。



アカゲラ

厳冬期でも緑のコケと虫の声

オヤコツ地獄の近くに、階段があります。その横は、これまでの探勝路沿いに続いていた森とは一風変わった景観が見られます。

耳を澄ますと、「ジージー」という声が聞こえてきます。コオロギの仲間「マダラスズ」の鳴き声です。体長は6～12mmほど。後ろ脚が白と黒のまだら模様になっているのが特徴です。オヤコツ地獄周辺には小さな噴気孔があり、コケ類が多く見られます。この中はとても暖かく、マダラスズにとっては布団のようなもの。

コケは真冬でも青々としていて、マダラスズも快適に寒い季節を過ごすのです。

魚の尾のくびれたところ

和琴半島はもともと、屈斜路カルデラが形成された後の火山である、オヤコツ溶岩円頂丘の溶岩ドームでした。屈斜路湖内にできた単独の火山島だったのです。

そこから長い時間を経て、土砂が堆積し、湖岸とつながって現在のような半島になりました。

「和琴」とは、“魚の尾のくびれたところ”を意味するアイヌ語のワッコチが語源とされており、半島の形状を指しています。そして大正10年に、この場所を訪れた紀行作家・大町桂月によって漢字が充てられました。

花の楽園・和琴半島

地温が高く、土壌も豊かなため、和琴半島は花が多く見られます。

春には春告草・フクジュソウやミズバショウ、エゾエンゴサク、ニリンソウ、夏にはクルマユリやオオウバユリ、ミヤマハンショウヅル、秋にはオオウバユリが結実し、鮮やかな紫のエゾトリカブトが花を咲かせます。

花を楽しむのに一番オススメの時期は5～6月ごろ。多くの花々が散策路の両脇に咲き、ついつい足を止めてしまいます。



フクジュソウ (4～5月)

屈斜路湖

日本で6番目の大きさを誇り、カルデラ湖としては日本最大の屈斜路湖。数十万年前～3万年前かけて起きた大噴火と大陥没によって出来上がった屈斜路カルデラの一部に水が溜まり、半円形の湖が出来ました。現在でも湖畔の数箇所からは温泉が湧き出し、火山活動の名残が見られます。

夏にはカヌーやキャンプ、釣りなどのアクティビティが人気で、冬はほぼ毎年全面結氷し、日本で最大級の氷丘脈が見られることがあります。

面積：79.6 km² 周囲：57km

最大水深：117.5m

平均水深：28.4m

標高：121m

和琴半島を遊び尽くす

和琴半島は散策だけでなく、カヌーや釣り、そしてキャンプまで出来るアウトドア好きにはたまらないスポット。旬の自然情報や散策ポイントなどを紹介している和琴フィールドハウスを活用すると、より楽しめます。

- 和琴フィールドハウス
4月下旬～10月末の8:00～17:00まで開館(入館無料)



- 和琴野営場(有料)
受付は和琴フィールドハウスで行っています。6月中旬～9月末頃まで利用可能。